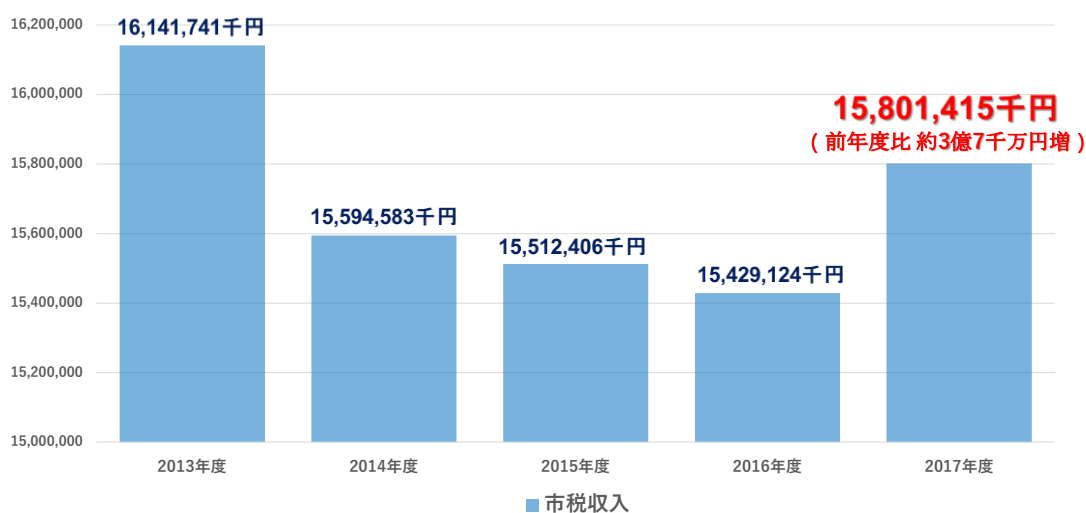


ワクワク度日本一のまち実現に向けて

2019年6月22日

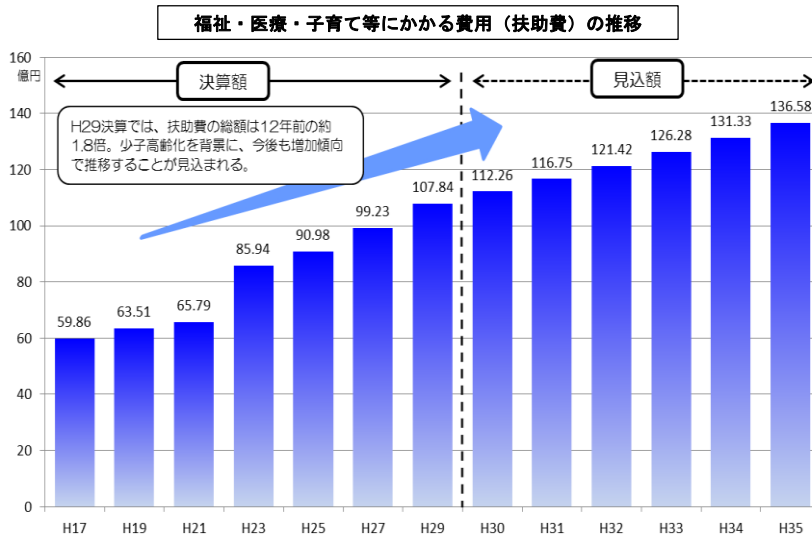
西条市長 玉井 敏久

減少傾向が続いていた市税収入が2017年度には増加に転じる



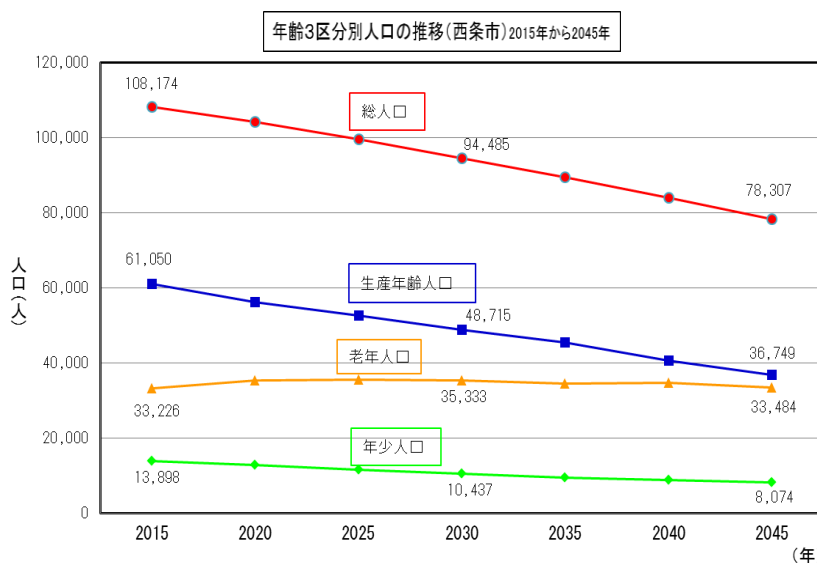
※ 一方で、歳出増加も続いており、継続した財源確保に取り組んでいく必要がある。

増え続ける扶助費



少子高齢化を背景に、福祉・医療・子育て等に係る費用（扶助費）は、今後も増加傾向で推移するものと予測されます。

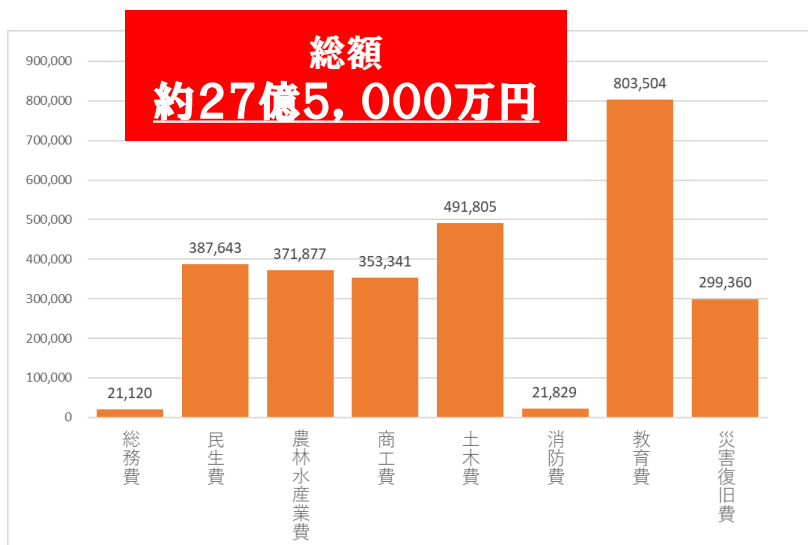
西条市の人口推計



増え続けてきた老年人口も2025年にピークを迎え、その後はすべての区分で人口減少が見込まれています。

人口が減少することにより、市税や地方交付税の減少が見込まれます。

獲得した新規補助金等の累計 (2017年度～2018年度予算分)



主な事業

2017年度

国民体育大会市町等競技施設整備費
地方創生推進交付金
丹原中央公園・小松中央公園整備事業費
ICTを活用したスマートスクール実証事業費
社会福祉施設建設事業費

2018年度

小中学校空調設備整備事業費
(仮称)新泉町団地整備事業費
移住促進事業費
国営ほ場整備事業費
地域子育て支援センター事業費
ICTを活用したスマートスクール実証事業費

～ワクワク度日本一のまちづくりに向けて～ 5つの基本政策

- ◇「市民主役の西条」の実現！
- ◇「住みたい西条」の実現！
- ◇「市民と進める行財政改革」の実現！
- ◇「夢が持てるまち西条」の実現！
- ◇「つながり広がる西条」の実現！

**モデル地区を中心に
地域自治組織設立に向けた
動きが進んでいます**

大町校区

A group of people, including students and staff, are gathered around a table in a classroom or meeting room. A man stands at the front, holding a document, while others sit around the table looking at papers. A screen in the background displays Japanese text.

■本年6月から橘校区が「橘未来づくり協議会」を設立し、本市第1号の地域自治組織を実現。

2018日本ICT
教育アワードを受賞しました

A group of approximately ten men in dark suits are standing on a stage. Several of them are holding large white certificates or awards with red ribbons. The background features a large blue banner with white Japanese text, which is partially visible as '自長リニア'. The men are arranged in a line, and the scene appears to be a formal award ceremony.



■ 全国各地から視察の依頼が相次いでいる。

◇「住みたい西条」の実現に向けて◇
健康都市を目指す第一歩として
「わくわく健康ポイント」を
2018年度から開始しました

【進展】



■ウォーキングや健康診断を受診するとポイントがたまり、商品券などに交換ができる
「わくわく健康ポイント」を推進。

■市民の健康増進を図ることで健康上問題が無い状態で日常生活を送れる期間である
「健康寿命」を延伸することが目的。



◇「住みたい西条」の実現に向けて◇
すべての小中学校と公立幼稚園へ
エアコン整備を進めています

【進展】



■他の県内自治体の動きに先駆けて小中学校と公立幼稚園へのエアコン設置事業に着手。

■着々と設置工事が進んでおり、今年度中に
市内すべての小中学校と公立幼稚園に
エアコンを設置予定。



◇「夢が持てるまち西条」の実現に向けて◇

日本オリンピック委員会 (JOC)の競技別強化センター に認定されました

【進展】



- 「石鎚クライミングパークSAIJO」に国内でも数少ないスピード競技場を整備。
- 日本オリンピック委員会(JOC)から競技別強化センターの認定を受ける。
- 昨年10月にオーストリア共和国と日本代表チームの合同合宿を開催した。
- 世界選手権代表を決定する「コンバインドジャパンカップ」の誘致に成功した。



2020東京五輪出場につながる「コンバインドジャパンカップ西条」の様子

◇「夢が持てるまち西条」の実現に向けて◇

情報通信技術(ICT)を用いたスマートシティの取組が進んでいます

【進展】



見守りロボット「パペロ」が高齢者と話す様子



WEB予約システム

24時間
受付中!

- ICTを活用して地域が抱える様々な課題の解決を図る「スマートシティ」を推進。
- ICTタグを使った高齢者見守り、わくわく健康ポイント、健診WEB予約システムや子育てモバイルサービスの導入、排水機場水位の遠隔監視実証実験に取り組んでいる。

◇「夢が持てるまち西条」の実現に向けて◇

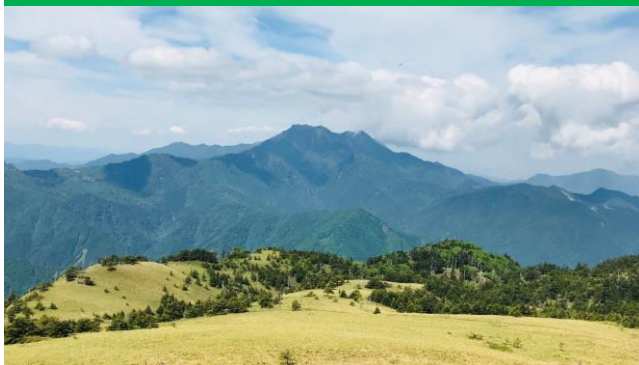
石鎚山系のブランドと
地域観光を形成する取組を
進めています

【進展】



7月1日オープン「アウトドアオアシス石鎚」

- 石鎚山系のブランド価値創造を目指し、平成29年3月に西条市、久万高原町、高知県の町、大川村で包括的連携協定を締結。
- 平成29年9月に国内有数のアウトドア用品メーカーのモンベル社と包括連携協定を締結。本年7月に「アウトドアオアシス石鎚」を開館予定。
- 昨年11月に魅力的な観光地域の形成を進める法人「株式会社ソラヤマいしづち」を設立。



◇「つながり広がる西条」の実現に向けて◇

国際化を推進するため
都市間交流に力を入れています

【進展】



オーストリア共和国セーボーデン市長らと

- 昨年4月には、ベトナム社会主義共和国フエ市と友好都市提携を締結した。
- 昨年4月には、内閣府からオーストリア共和国の「ホストタウン」の認定を受けた。
- 本年5月には、オーストリア共和国セーボーデン市と友好都市提携を締結した。



ベトナムフエ市伝統工芸フェスティバルで西条市をPR



「2019年版住みたい田舎ベストランキング」 全部門で**四国第1位**を獲得しました！！

部 門	全国ランキング (人口10万人以上)	四国ランキング
総合部門	12位	1位
若者世代が住みたい田舎部門	5位	1位
子育て世代が住みたい田舎部門	15位	1位
シニア世代が住みたい田舎部門	13位	1位
自然の恵み部門	5位	1位

平成30年度、完全無料で個別対応型の移住体験ツアーや「えひめ西条！移住応援大使」の起用によるプロモーション活動など各種移住施策の推進により、移住担当課を経由した
実質的な移住者数前年度比が約3倍に！



(株)宝島社出版『田舎暮らしの本』の2月号特集
「2019年版 第7回住みたい田舎ベストランキング」

東予地区に 関係する事業

楠浜北条線道路改良事業 を進めています



整備状況



J R 予讃線高架橋

■県道徳能伊予三芳停車場線と国道196号線の区間（1.4 km）を整備

■完成年度 令和6年度（予定）

■総事業費 約28億9,000万円

西消防署河北出張所の整備が 着々と進んでいます



整備イメージ

■河北地区（人口約1万4千人）が対象。

■2019年10月運用開始に向け建設中。

■これまで平均約11分かかっていた河北地区の救急車の到着所要時間を5分以上短縮。（全国平均8.6分）。

三津屋雨水ポンプ場の 整備を進めています



■三津屋排水機場の排水能力の低下や雨水流入量の増加に対応し、浸水防除の機能向上を目指して新たなポンプ場を整備中

■完成年度 令和8年度（予定）

■総事業費 約27億円

今後も引き続いて
ワクワク度日本一のまちづくりを
推進していきます

西条市長 玉井 敏久

（参考）市長就任後における西条市政のあゆみ

◆ 「市民主役の西条」の実現に向けて

- 「地域コミュニティのあり方研究会」を発足（2017. 3）
- 多様な市民の意見を伺う「若者会議・女性会議」を開始（2017. 11）
- 大町・橘地区をモデルに地域自治組織の取組を拡大中（2018. 12）
- 地下水を守る姿勢を胸に県提案6項目に対する回答を提出（2019. 3）

◆ 「住みたい西条」の実現に向けて

- 県内で初めて中学2年生を対象に無料のピロリ菌検査を開始（2017. 12）
- 小中学校と公立幼稚園へのエアコン設置を開始（2017. 12）
- 全国ICT教育首長協議会「日本ICT教育アワード」を受賞（2018. 1）
- 西消防署河北出張所整備事業を着工（2018. 7）
- ウォーキングでポイントが貯まる「わくわく健康ポイント」を開始（2018. 7）
- ICTを活用した高齢者見守りシステムを全市域に拡大決定（2019. 3）

（参考）市長就任後における西条市政のあゆみ

◆ 「市民と進める行財政改革」の実現に向けて

- 大規模な機構改革を実施（2017. 4）
- 西条市では初めて総務省から副市長を招聘（2017. 7）
- 中四国初の自治体シンクタンク「西条市自治政策研究所」開設（2017. 11）
- 将来世代に負担を残さぬよう水道料金・下水道使用料を見直し（2018. 2）
- 平成29年度と30年度で約29億7, 900万円の新規補助金等を獲得

◆ 「夢が持てるまち西条」の実現に向けて

- 情報通信技術（ICT）を活かしたスマートシティの取組を推進（2017. 4）
- 石鎚クライミングパークに国内でも数少ないスピード競技場を整備（2018. 10）
- 石鎚クライミングパークがJOC競技別強化センターに認定（2018. 5）
- 「西条市ワクワク大賞」を創設（2018. 10）
- 地域観光サービス統括会社「株式会社ソラヤマいしづち」設立（2018. 11）
- オーストリアクライミング協会と友好交流に関する覚書を締結（2019. 3）
- スポーツクライミング 第2回コンバインドジャパンカップを誘致（2019. 5）

（参考）市長就任後における西条市政のあゆみ

◆ 「つながり広がる西条」の実現に向けて

- アウトドア用品メーカーのモンベル社と包括連携協定締結（2017. 9）
- 学校法人松山大学と包括的な連携協定を締結（2017. 9）
- 「LOVE SAIJOファンクラブ」を開設し会員2, 000名を突破（2018. 4）
- ベトナム社会主義共和国フエ市との友好都市提携を締結（2018. 4）
- 内閣府からオーストリア共和国のホストタウンの認定を受ける（2018. 4）
- 他の県内自治体よりも素早く西日本豪雨の被災地に物資を輸送（2018. 7）
- オーストリア共和国セーボーデン市との友好都市提携を締結（2019. 5）